

令和2年度 第3学年 理科 年間指導計画 予定年間授業時数：137時間

使用教科書：大日本図書「理科の世界」

使用副教材：創育・吉野教育図書「毎日の確認1・2分野」

教科の学習目標：

- (1) 自然の事物・現象に進んでかかわろうとする態度を養う。
- (2) 目的意識をもって観察・実験などを行い、科学的に探究する能力を育てる。
- (3) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

<学習内容>

学期	学習単元	学習内容
1	単元1 運動とエネルギー	<input type="checkbox"/> 2力のつりあい、力の合成、力の分解について学習する。 <input type="checkbox"/> 物体に加わる力の向きと運動の速さの変化について学習する。 <input type="checkbox"/> 理科で扱う仕事とエネルギーについて学習する。
	単元2 生命の連続性	■ 生物の殖え方と細胞分裂について学習する。
2		■ 遺伝について学習する。
	単元3 自然界のつり合い	<input type="checkbox"/> 食物連鎖について学習する。 <input type="checkbox"/> 自然界を循環する物質について学習する。
	単元4 化学変化とイオン	■ 電解質について学習する。 ■ イオンの構造について学習する。 ■ 電池での化学変化について学習する。 ■ 酸・アルカリとイオンの関係について学習する。
	単元5 地球と宇宙	<input type="checkbox"/> 恒星の日周運動について学習する。 <input type="checkbox"/> 恒星の年周運動について学習する。
3		<input type="checkbox"/> 太陽系・銀河系・宇宙について学習する。
	単元6 地球の未来のために	■ 自然環境と人間のかかわりについて学習する。 ■ 暮らしを支える科学技術について学習する。 ■ エネルギー資源について学習する。

評価の観点・方法

以下の観点に基づき、生徒一人一人の活動をしっかりと評価します。

観点(全体に対する割合)	観点の趣旨	評価資料
観点1 (20%) 自然の事物への 関心・意欲・態度	自然の事物・現象に進んでかかわり、それらを科学的に探究するとともに、事象を人間生活とのかかわりでみようとす る。	授業後の確認プリント 提出物(ノート、 学習の達成など) 忘れ物【減点法】
観点2 (25%) 科学的な思考・表現	自然の事物・現象の中に問題を見いだ し、目的意識をもって観察、実験などを行 い、事象や結果を分析して解釈し、表 現している。	定期テスト 小テスト 実験時のプリント
観点3 (25%) 観察・実験の技能	観察、実験を行い、基本操作を習得する とともに、それらの過程や結果を的確に 記録、整理し、自然の事物・現象を科学 的に探究する技能の基礎を身に付ける。	定期テスト 小テスト 実験時のプリント
観点4 (30%) 自然事象についての 知識・理解	自然の事物・現象について、基本的な概 念や原理・法則を理解し、知識を身に付 けている。	定期テスト 小テスト